

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

vol.27



整備前の荒廃した森林



写真：間伐で明るく元気な奥山林へ
(矢板市泉地区)
—とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業—

▼特集

- ①バスツアーで学びに行こうよ！「とちぎの元気な森づくり」
- ②とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました
- ③木を伐るとのこと

▼部会だより

木づかい推進部会部会、森づくり推進部会、普及・啓発部会の活動

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市埴田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3294



特集①

バスツアーで学びに行こうよ! 「とちぎの元気な森づくり」

ー 里山林整備箇所や、木の良さ普及啓発事業実施箇所を巡りました ー

とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施箇所等を巡り、県民の皆様には事業の内容や効果を知っていただく機会を創出するとともに、県民協働の森づくりへの理解をより一層深めていただくため、県ではバスツアーを開催しています。

平成24年11月に、県西環境森林事務所が事務局となり、鹿沼市における県民税事業の実施箇所などを巡るバスツアーが開催されました。

- 1 開催日 平成24年11月30日（金）
- 2 参加者 22名
- 3 ツアー工程

- 9：00 ツアー出発
車内にて奥山林整備事業の説明



- ジャパンテック（株）でペットボトルがどのようにリサイクルされているかについて学んでいただき、分別収集の意義を実感していただきました。（写真1）



～昼食～



- 明るく安全な里山林整備事業について学んでいただき、実際の実施箇所を見学することで森林整備の重要性とその効果について理解していただきました。（写真2）



- 県産木材を利用して建てられた鹿沼市立中央小学校を見学し、木のぬくもりに触れていただき、木の良さを再確認していただきました。（写真3）



- 帰路の車中で、県民税事業PR・環境対策課の業務内容のビデオ鑑賞

- 15：40 解散 お疲れ様でした。



特集②

とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました

— イオンリテール(株)、国際ロータリー第2550地区、(株)カスミ、
 (一社)栃木県労働者福祉センター、国際協同組合同年栃木県実行委員会 —

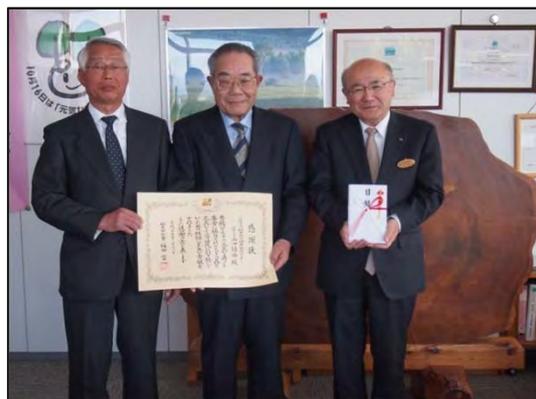
「とちぎの元気な森づくり」の取組にご賛同いただき、
 イオンリテール株式会社 北関東カンパニー 様
 国際ロータリー第2550地区 様
 株式会社 カスミ 様
 一般社団法人 栃木県労働者福祉センター 様
 国際協同組合同年栃木県実行委員会 様 よりご寄附をいただきました。

皆様からいただきましたご寄附は、「とちぎの元気な森づくり県民税」と合わせて、荒廃した奥山林や身近な里山林の整備、森林ボランティアへの支援や森林・森づくりの大切さについて理解促進を図る取組などに大切に使用させていただきます。

この誌面をお借りして、改めてお礼申し上げます。



H24.9.10 @環境森林部長室
 イオンリテール(株)北関東カンパニー
 森田店長へ感謝状を贈呈しました。



H25.2.13@環境森林部長室
 (一社)栃木県労働者福祉センター
 山田理事長へ感謝状を贈呈しました。

ご寄附について

名称	内容	問い合わせ先
とちぎの元気な森づくり基金 (企業・団体の方) 	とちぎの元気な森づくり県民税と合わせて、 <u>奥山林・里山林の整備や、森づくり活動を行う団体への支援、木の良さの普及啓発事業など</u> 、「とちぎの元気な森」を次世代に引き継ぐための取組に活用します。	環境森林政策課 028-623-3294
ふるさと“とちぎ”応援寄附金 (個人、企業・団体の方) 	ふるさと“とちぎ”の各分野(文化振興、森林保全、福祉向上、救急医療の充実、日光杉並木の保護、東日本大震災からの復興)から用途を選択できます。	税務課 028-623-2101

特集③

木を伐るといふこと

— 森づくり活動初心者  による林業体験記 —



木を伐るといふことについて学ぶため、1月某日、県内で行われていた間伐作業の見学に行ってきました！間近で見る作業はとても迫力があり、また直接現場を体験したことで、聞いているだけでは分からなかった詳細な作業の工程、その大変さなどを知ることができました。また、林業の現場は多くの危険が伴う場所でした。現場は常に“安全第一”。今回は、その一部をご紹介します。

間伐作業その1～作業歩道をつくる～

急な斜面を効率よく歩くため、幅60センチほどの作業歩道を作ります。下草を刈り取ったり地面をならしたりした、いわゆる“けもの道”のようなものです。初心者にとっては結構急な箇所もある道ですが、作業道具や、お弁当、チェーンソーの燃料などを持って山を歩き回る林業者の人たちには、この道があることで効率よく動き回ることができるのです。



間伐作業その2～伐る木を選ぶ～



次にどの木を伐るか、選定します。目安として、
①クマにより樹皮が剥がされてしまうなどの理由により、枯れてしまっている木
②密集した場所に生えていて、太陽の光を遮り、他の木の成長を妨げている木
を伐るそうです。伐る木には、ヒモなどで目印をつけたりします。
達人になると、目印をつけなくても、木を伐りながら、次に伐る木に目星をつけながら作業をすすめます！

クマにより皮を剥がされた木ー



間伐作業その3～伐り倒す方向を決める～

木を伐り倒す方向を決めるときは、他の木にあたらす倒せる方向、また斜面の状態などを見極めるため、伐る木の真下に立ち周囲を見渡します。実際に立ってみました、360度木が生えているので、わずかな隙間を見極めるのはとても難しかったです。

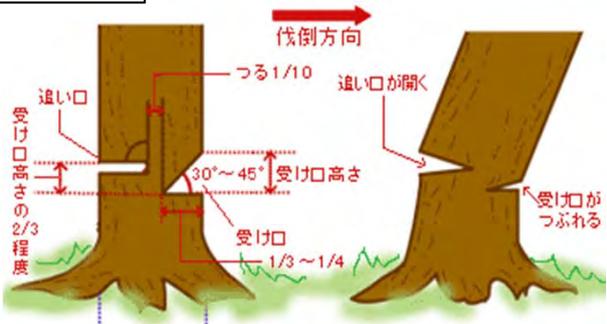
間伐作業その4～木を伐り倒す～

いよいよ木を伐ります。木の幹の倒す方向側に“受け口”と呼ばれる三角の切れ込みを入れます。受け口ができたら、今度は反対側からチェーンソーを入れていきます。敢えて受け口まで伐らず、ツルと呼ばれる伐りシロを残して、木がツルを支えにゆっくり倒れるようにします。

追い口を作る際には、掛け声や笛などで「これから木を倒しますよ」の合図をします。周囲の人は、追い口側に離れて待機しますが、万が一予定していない方向に倒れることも考えて、自分の逃げ道も確認しておく必要があります。でも、足場の悪い斜面で急いで逃げるなんて、至難の業です。。。



イメージ



受け口



木が倒れるときには、幹がしなって大きな音を立てます。圧巻です。多いときで1日に200本も伐り倒すこともあるそうです。



木づかい推進部会

伝統工芸(鹿沼組子)に学ぶ木工のコツ

— 木づかいスタッフ交流研修会が開催されました —

3月9日(土)、宇都宮冒険活動センターにて、木を扱うボランティア「木づかいスタッフ」の木工工作のスキルアップ及びスタッフ同士の交流を図るため、木づかいスタッフ交流研修会が開催されました。

今回のテーマは、「伝統工芸(鹿沼組子)に学ぶ木工のコツ」です。

講師には、県の伝統工芸品にも指定されている「鹿沼組子」を専門に扱う、(有)吉原木芸の専務取締役 吉原 秀美氏ならびに、税事業のイベント等でも大活躍の木工工作キットから大型木製遊具まで木製品全般を幅広く手がけている星野工業(株)の工場長 斎藤 毅氏のお二方を招き、大変有意義な研修会となりました。



参加者には、いきなり鹿沼組子を組み立ててもらいました。

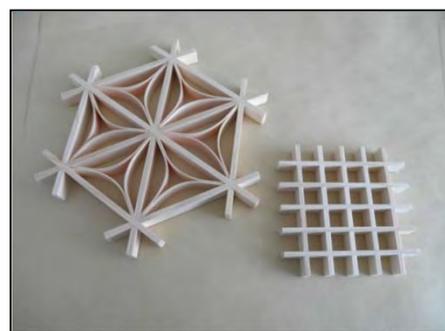
パズルのような複雑な組み合わせとなっており、出来ない参加者が続出！
答え合わせして納得！！



参加者は、普段なかなかお目にかかれない職人の技や専用の道具に「なるほど〜！」が連発！！



参加者自ら、専用の工具を使用したり、木をお湯で曲げる加工にも挑戦！



今回製作した鹿沼組子のコースター(2種類)。

まずは「知る」ことから始まります

— 様々な方法で森づくり活動をPRしています —

森づくり推進部会では、県民協働の森づくりの大切さを広く県民の皆様に御理解いただくため、様々な方法で元気な森づくりのPRを行っています。



イベント会場では、間伐の必要性を説明したポスターを展示したり、間伐材で制作したノベルティや森づくり活動を紹介するリーフレットの配布を通じて、元気な森づくりや「元気な森づくりの日」のPRに取り組んでいます。



間伐材を活用して
僕の携帯ストラップをつくったよ。



また、PR活動には、とちぎの元気な森づくりシンボルマーク「とちもりくん」をプリントしたスタッフジャンパーを着用したり、イベントに参加いただいた方にお配りするノベルティのデザインにとちもりくんを使うなど、「とちもりくん」と一緒に取り組んでいます。



のぼり旗や
スタッフ
ジャンパー、
ノベルティに
僕がプリント
されているよ！





森林資源の循環利用を体験!

— 市貝町で葛飾区民との交流事業を実施 —

森林が有する公益的機能は、本県のみならず、下流域の都県もその恩恵を受けています。

このため、本部会では、下流域都県民の「とちぎの元気な森」への理解と関心を深め、一体となって森林を守り育てていくことを目的として、下流域都県民と本県民の参加・協力による交流の森づくり活動を実施しています。

今年度2度目となる交流事業が、平成25年3月3日（日）に市貝町にて行われました。

今回の事業は、県東環境森林事務所・市貝町が事務局となり実施し、東京都葛飾区民36名の方が参加されました。

15:00

一日、お疲れ様でした。
みんなで感想を語らいます。
森の恵みのことを忘れな
いでくださいね~(o^)/



10:00

さあて、やるぞ~!
皆さんやる気満々です。



煤を全身に被りながら、炭出しをします。このような苦労も、実際に体験しないと分かりません。



事業実施内容 (当日の流れ)

10:45
補植体験。子供たちのためにも、美しい里山を引き継がないと。



14:00

炭出しを体験。育てた森林資源を活用することで、森林が循環します。



13:15

本県の事業として整備した里山である「観音山梅の里」を視察しました。本県の美しく豊かな自然を満喫!



当日は、午前中にとちぎの元気な森づくり活動などの説明、補植作業などを行い、午後は本県の里山林整備事業地の視察、炭出し作業を行っていただきました。

参加された葛飾区民の方々には、里山の整備とその資源の利活用に関する様々な体験をしていただきました。

今回の事業に参加していただいたことで、本県が進める「とちぎの元気な森づくり」を知っていただくとともに、「木を植えて、育てて、伐って、利用する」という森林資源の循環利用により、健全な森林が保たれるということについても理解を深めていただけたことと思います。

伝言板

* ご利用ください！！ 森づくり活動のポータルサイト 「とちぎの森づくり」*

栃木県の森林・林業に対する取組や各種報告書などの行政情報をはじめ、イベント・講座のお知らせや活動団体の情報、指導者等の人材情報などを一元的に提供しています。

どなたでもサイトをご覧いただくことができます。

また、会員登録をさせていただくと、活動団体や県民の皆さんが、直接、イベント等のお知らせや活動団体情報などをサイトに掲載することができ、情報発信や相互交流の場としてもご利用いただけます。

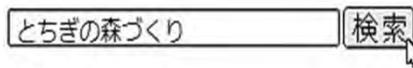
県民の皆さんをはじめ、森づくりやみどりづくりに取り組む学校、森林環境学習関連施設、地域で活動する団体・企業などの森づくり活動を応援するためのサイトです。

ぜひご利用ください。

★続きはWebで♪



★QRコードはこちら



<http://mori.ecomori-tochigi.jp/>

* とちぎ森づくり情報センター情報誌「グリーンウェーブ」*

とちぎ森づくり情報センターでは、森づくり活動に関する情報等を掲載した情報誌「グリーンウェーブ」を発行しております。森づくりに関するイベント・講座等の案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。ホームページ「とちぎの森づくり」からご覧いただけます。また、栃木県森林ボランティアへ会員登録していただいた方には、毎月郵送（またはメール送信）いたします。

▼栃木県森林ボランティアに関するお問い合わせ先
県環境森林政策課 (028)623-3294

(栃木県HP) ホーム > くらし・環境 > 自然・動植物 > 森づくり
> 森林ボランティア活動に参加してみませんか

* とちぎの元気な森づくりNEWS 編集担当より *

今年度から本誌の編集・発行を担当いたしまして、様々な方々にご協力いただき、vol.27まで発行することができました。

今後も、できる限り見やすく面白い紙面となるよう、一層努力して参りますので、引き続きよろしくお願いたします。

また、これまで発行してきましたバックナンバーは、以下のページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(栃木県HP) ホーム > くらし・環境 > 自然・動植物 > 森づくり
> とちぎの元気な森づくり (とちぎの元気な森づくり県民税事業)
> とちぎの元気な森づくりNEWS

「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。